

# はまぼうふう Photo Letter

フォトレター

vol.001 2014.4.25

6月下旬から7月上旬にかけてハマナスの花が咲き乱れる「はまなすの丘公園」は石狩市を代表する景勝地。しかしここには、ほかの季節も楽しめる花や意外な名脇役もいます。そんな植物を毎月ご紹介します。(写真提供：石狩浜定期観察の会)



## イソスミレ (スミレ科)

春、一番最初に石狩浜を彩る花で、可憐な色と姿に心躍ります。早い年は4月末から咲き始め、はまなすの丘公園では地図に示すあたりに群生があり、木道の下を覗くと間近で見ることができ

ます。海浜植物の特徴と言える厚手でハート形の葉も魅力。6月に実を結び、三角錐の果実が割れ、小さな種子が飛び散ります。夏～秋にも閉鎖花(開花しない自家受粉する果実形状の花)をつけて結実します。石狩浜が分布の北限で環境省絶滅危惧種です!

## はまなすの丘公園 5月はコレを見つけよう

### スズメノヤリ (イグサ科)

イソスミレより一足先に開花します。2013年では5/1に葉の縁に白い長い毛がついており、焦げ茶色のくす玉状のものは蕾の集合体です。この植物の花は花びらが無く、5/15には淡黄色のおしべが見られ、これが開花している状態です。名前は頭花を毛槍に見たてて名付けられています。



2013.5.1 はまなすの丘公園



2013.5.15 はまなすの丘公園

### チャシバスケ (カヤツリグサ科)

海岸および山地の草原に生育し、北海道や本州の中北部に分布します。2013年では5/1に穂が現れ、5/15に開花が認められました。この植物は雄花と雌花が同じ茎から上下に分かれてつき、黄色いフサフサしたものが雄花のおしべで、赤い矢印で示した部分が雌花です。



2013.5.1 はまなすの丘公園



2013.5.15 はまなすの丘公園

# 石狩浜海浜植物保護センター 観察園便り Vol.1 2014.4.17

編集制作：いしかり海辺ファンクラブ

石狩浜海浜植物保護センターの裏に広がる観察園は、石狩浜に生育する植物を集めた植物園です。遊歩道に沿ってたくさんの種類の植物が植えられており、海浜植物をまとめて間近に親しめる穴場なのです。今回は4月29日の開園に向けて今年の整備が始まった4月17日の様子をご紹介します。一見何みなさそうな観察園。でも、よく見るとちゃんと植物たちは活動開始していました。



MAP1 直径約5ミリ。ぶっくり生まれたての赤ちゃんのようなウンランの芽吹きです。



MAP2 ハマエンドウの芽です。これで2センチほどです。赤くて目立ちますね。



MAP3 ハマボウフウも顔を覗かせていました。3センチの瑞々しいライトグリーン。



MAP4 ノコギリソウです。まだ数センチの赤ちゃんですが、ギザギザは見事です。



MAP5 海浜植物開花のトップバッター、イソスミレは準備着々。株直径約12センチ。



MAP6 海辺では雑草と思われがちですが、実は砂丘形成の主役ハマニンニクも元気。



MAP7 ユリ科のヤブカンゾウは海浜植物ではありませんが、砂地でもよく育ちます。



MAP8 雪解け直後のこの時期、園内各所で見られるドネズミたちの通路跡です。



MAP9 雪の中で過ごした昨年のハマナスの実に、枝に新芽がほころんでいます。



MAP10 地面に落ちたハマナスの実にギッシリあった種。ネズミの食べた跡です。



MAP11 観察園の南西角にあるカシワの木です。一冬越えてなお葉がついたままです！



MAP12 冬の間もここにはよく来る、キタキツネのフンが白色化したものです。



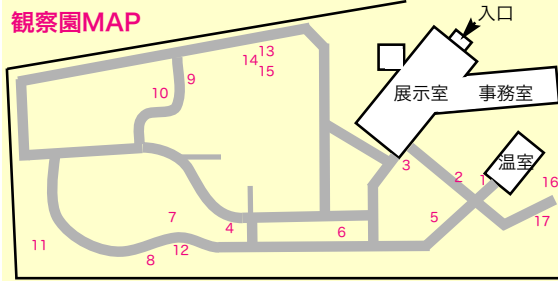
MAP13 ハマハタザオです。名前の通り旗の竿のようにこの中心から茎を伸ばします。



MAP14 苔みたいに見えますが、これからグツと背丈を伸ばすエソカワラマツバです。



MAP15 雪で押しつぶされてベタッソコ。赤紫色の葉が印象的なエソカワラナデシコ。



MAP16 ハマナスの苗を2000株育てました。隣接するハマナス再生園に移植します。



MAP17 温室側からの観察園。手稲山も見えます。これから緑で埋め尽くされますよ。



MAP17 観察園の整備をされている竹田さん(右)と内田さんです。とても気さく♪



- 開園期間 4/29～11/3
- 開園時間 9:00～17:00
- 定休日:毎週火曜(祝日開園翌日休)

アクセスマップ



周辺地域マップ

